

分担研究報告書

4. 働く人を対象としたがん検診に関するアンケート調査

研究分担者 須賀 万智

東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 教授

令和5年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
職域における科学的根拠に基づくがん検診の社会実装に関する研究
分担研究報告書

働く人を対象としたがん検診に関するアンケート調査

研究分担者 須賀 万智 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 教授
研究協力者 山内 貴史 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 准教授
研究協力者 島崎 崇史 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 助教

研究要旨

【目的】健保組合（主に大企業）と協会けんぽ（主に中小企業）の被保険者を対象に「働く人を対象としたがん検診に関するアンケート調査」を行い、がん検診の案内状況、受診状況、がんやがん検診に対する意識を調査した。

【方法】調査会社の登録モニターから健保組合と協会けんぽの被保険者をそれぞれ性 10 歳階級別 200 名ずつ募集し、3753 名から回答を得た。

【結果】がん検診の案内を受け取ったのは市町村が最も多く、健康保険組合と企業から受け取った者がそれぞれ 1 割未満、どこからも届いていないと答えた者が概ね 5 割であった。がん検診を受けない理由は費用が掛かる、次いでがん検診の案内が来なかった、面倒くさいであった。がん検診に欲しいサービスは検査費用を補助してもらえる、次いで土日祝日に受けられる、勤務時間内に受けられる、定期健康診断と同時に受けられるであった。

【結論】受診対象年齢であってもがん検診の案内を受け取っていないと答えた者が多数存在しことから、がん検診の案内を確実に届けることがまず解決すべき課題である。また、がん検診を受けない主な理由に挙げられた検診費用の経済的負担と受診の利便性（アクセシビリティ）についても、健康保険組合と企業のコラボレーションの下で検討していく必要がある。

A. 研究目的

がん検診による早期発見・早期治療はがん予防の要である。がん検診は、市町村が健康増進法に基づく健康増進事業として実施するか、保険者や事業者が任意で提供するか、人間ドックの一部として行われるのが一般的である。すなわち、通常健康診断と異なり、対象者は複数の受診機会を与えられ、自ら受診先を選択できるしくみとなっている。

15 歳以上人口の約半数が就労しており、職場でがん検診を受ける機会を設けることは受診率の向上に大きな役割を果たすと期待される。しかし、そもそも、上記のような状況において、がん検診の案内がどのように対象者に届いているか、受診行動を高められているか、その実態は定かでない。そこで、本研究では、健保組合（主に大企業）と協会けんぽ（主に中小企業）の被保険者を対象に「働く人を対象としたがん検診に関するアンケート調査」を行い、がん検診の案内状況、受診状況、がんやがん検診に対する意識を調査した。

B. 研究方法

「働く人を対象としたがん検診に関するアンケート調査」は、マイボイスコム株式会社に委託し、2024 年 1 月 12～28 日にインターネット上で実施した。調査対象は、同社の登録モニターから健保組合と協会けんぽの被保険者をそれぞれ性 10 歳階級別 200 名ずつ募集し、3753 名から回答を得た。

調査項目は、今年度に市町村／健康保険組合（健保組合、協会けんぽ）／企業からがん検診の案内を受け取ったか、今年度に胃／肺／大腸／乳／子宮頸／前立腺の各がん検診を受けたか、受けない場合はその理由、どのようなサポートがあればがん検診を受けようと思うか（上位 5 項目）、がんに対する考え（7 項目）、がん健診に対する考え（9 項目）を尋ねた。

統計解析は SAS9.4 を使用した。割合の比較は χ^2 検定を行い、有意水準は 5%とした。（倫理面への配慮）

本研究は東京慈恵会医科大学の倫理委員会の審査承認（35-281(11912)）を受けて行われ

た。

C. 研究結果

表 1 に回答者の基本属性を示した。協会けんぽの 20 代が予定サンプル数を大きく下まわったが、両群の基本属性の分布はほぼ等しかった。

表 2 にがん検診の案内状況を示した。がん検診の案内を受け取ったのは市町村が最も多かった。健康保険組合（健保組合、協会けんぽ）と企業がそれぞれ 1 割未満であり、健康保険組合から受け取った割合は健保組合と協会けんぽで差がなかったが、企業から受け取った割合は協会けんぽに比べ健保組合の方が高かった。どこからも届いていないと答えた者は受診対象年齢でも概ね 5 割と高く、健保組合と協会けんぽで明らかな差はなかった。

表 3 にがん検診の受診状況を示した。がん検診を受けたのは人間ドックが最も多かった。受けるつもりがない者は受診対象年齢でも概ね 4 割と高く、健保組合と協会けんぽで明らかな差はなかった。なお、がん検診を受けた者の割合は、がん検診の案内を受け取った者の方がそうでない者に比べ高かった。また、がんとの接点がある（身近にがん患者がいる／いた）者の方がそうでない者に比べ高かった。

表 4 にがん検診を受けない理由を示した。最も多かったのは費用が掛かる、次いでがん検診の案内が来なかった、面倒くさいであった。

表 5 にがん検診に欲しいサービスを示した。最も多かったのは検査費用を補助してもらえ、次いで土日祝日に受けられる、勤務時間内に受けられる、定期健康診断と同時に受けられるであった。

表 6 にがん・がん検診に対する意識を示した。回答者の過半数が「自分自身も、将来、がんになる可能性が高い」と考えており、「がんは早期に見つければ完治できる」と理解していた。回答者の 7 割が「がん検診は一般的に受けるべきものだ」という主観的規範を持つ一方、「がん検診を受けるかどうかは自分しだいだ」という行動コントロール感を認めた。また、現在のがん検診の項目について、不十分だという者が 3 割を超えたのに対して、十分だという者が 1 割にとどまった。

D. 考察

職域におけるがん検診の進め方を検討するにあたり、働く人のがん検診の実態を把握するため、健保組合と協会けんぽの被保険者を対象に「働く人を対象としたがん検診に関するアンケート調査」を行い、がん検診の案内状況、受

診状況、がんやがん検診に対する意識を調査した。

がん検診の案内を受け取ったのは市町村が最も多く、健康保険組合（健保組合、協会けんぽ）と企業は 1 割未満にとどまった。がん検診を受けない理由としてがん検診の案内が来なかったが上位に挙げたこと、実際に、がん検診の案内を受け取った者の方がそうでない者に比べがん検診を受けた者の割合が高かったことから、がん検診の案内を確実に届けることが受診率の向上に必要である。回答者の約半数がどこからも届いていないと答えており、まずはがん検診の案内の改善に取り組むべきと考えられる。

がん検診を受けない理由の第 1 位は費用が掛かる、がん検診に欲しいサービスの第 1 位は検査費用を補助してもらえらるであったことから、検診費用の経済的負担が受診率低迷の一因として示唆された。また、土日祝日に受けられる、勤務時間内に受けられる、定期健康診断と同時に受けられるなど、受診の利便性（アクセシビリティ）が受診率に影響するもうひとつの要因として示唆された。このような配慮を講じるのは市町村では難しいが、健康保険組合や企業では可能である。がん検診の案内の改善と共に、是非とも検討いただきたい課題のひとつと言える。

がん検診の受診機会として人間ドックが最も多かった。がん検診に欲しいサービスとして定期健康診断と同時に受けられるが挙げられたことを考え合わせると、所定の年齢の従業員には定期健康診断の代わりに人間ドックを推めるというのが現実的な解決策かもしれない。ただし、人間ドックは一般的に健康保険組合が提供しているため、これを実現するには、健康保険組合と企業のコラボレーションが前提となる。

E. 結論

がん検診は、市町村、健康保険組合、企業から提供されているが、受診するかの判断は本人に委ねられている。受診対象年齢であってもがん検診の案内を受け取っていないと答えた者が多数存在しことから、がん検診の案内を確実に届けることがまず解決すべき課題である。また、がん検診を受けない主な理由に挙げられた検診費用の経済的負担と受診の利便性（アクセシビリティ）についても、健康保険組合と企業のコラボレーションの下で検討していく必要がある。

F. 健康危険情報
なし

G. 研究発表
1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表1 回答者の基本属性

		健保組合		協会けんぽ	
N		1965		1788	
性	男性	965	49%	859	48%
	女性	1000	51%	929	52%
年齢	20代	365	19%	205	11%
	30代	400	20%	400	22%
	40代	400	20%	400	22%
	50代	400	20%	400	22%
	60代	400	20%	383	21%
婚姻	既婚	939	48%	910	51%
	未婚・離別・死別	1026	52%	878	49%
教育歴	中学・高校	560	28%	536	30%
	専門学校・短大・高専	375	19%	429	24%
	大学・大学院	1030	52%	823	46%
世帯収入	600万円未満	989	50%	1036	58%
	600万円以上	976	50%	752	42%
健康への関心	低い	247	13%	243	14%
	中間	421	21%	452	25%
	高い	1297	66%	1093	61%
主観的健康	悪い	334	17%	292	16%
	中間	990	50%	938	52%
	良い	641	33%	558	31%
通院中	あり	651	33%	585	33%
がんとの接点	あり	580	30%	533	30%

表2 がん検診の案内状況

健保組合												
	全体	20代		30代		40代		50代		60代		
N	1965	365	400	400	400	400	400	400	400	400	400	
市町村	569	29%	47	13%	70	18%	138	35%	156	39%	158	40%
健康保険組合	135	7%	15	4%	15	4%	32	8%	29	7%	44	11%
企業	145	7%	19	5%	20	5%	33	8%	33	8%	40	10%
どこからも届かない	925	47%	210	58%	243	61%	173	43%	159	40%	140	35%

協会けんぽ												
	全体	20代		30代		40代		50代		60代		
N	1788	205	400	400	400	400	400	400	400	383		
市町村	485	27%	23	11%	61	15%	139	35%	131	33%	131	34%
健康保険組合	138	8%	10	5%	19	5%	26	7%	30	8%	53	14%
企業	80	4%	7	3%	16	4%	18	5%	20	5%	19	5%
どこからも届かない	852	48%	119	58%	240	60%	163	41%	184	46%	146	38%

表3 がん検診の受診状況

健保組合		全体	20代	30代	40代	50代	60代						
N		1965	365	400	400	400	400						
胃がん	市区町村	41	2%	2	1%	1	0%	10	3%	11	3%	17	4%
	健康保険組合	166	8%	3	1%	25	6%	44	11%	49	12%	45	11%
	企業	181	9%	3	1%	27	7%	43	11%	52	13%	56	14%
	人間ドック	323	16%	4	1%	56	14%	88	22%	84	21%	91	23%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	201	10%	14	4%	40	10%	51	13%	52	13%	44	11%
肺がん	市区町村	35	2%	1	0%	1	0%	11	3%	5	1%	17	4%
	健康保険組合	169	9%	4	1%	19	5%	37	9%	53	13%	56	14%
	企業	213	11%	13	4%	22	6%	44	11%	63	16%	71	18%
	人間ドック	295	15%	4	1%	47	12%	76	19%	83	21%	85	21%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	172	9%	13	4%	35	9%	41	10%	44	11%	39	10%
大腸がん	市区町村	1081	55%	330	90%	276	69%	191	48%	152	38%	132	33%
	健康保険組合	35	2%	0	0%	1	0%	9	2%	7	2%	18	5%
	企業	168	9%	6	2%	17	4%	35	9%	58	15%	52	13%
	人間ドック	180	9%	7	2%	16	4%	40	10%	57	14%	60	15%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	255	13%	5	1%	37	9%	69	17%	69	17%	75	19%
乳がん	市区町村	186	9%	11	3%	31	8%	46	12%	48	12%	50	13%
	健康保険組合	1141	58%	336	92%	298	75%	201	50%	161	40%	145	36%
	企業	68	7%	1	1%	11	6%	23	12%	15	8%	18	9%
	人間ドック	101	10%	5	3%	15	8%	26	13%	26	13%	29	15%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	95	10%	4	2%	16	8%	21	11%	28	14%	26	13%
子宮頸がん	市区町村	139	14%	9	5%	23	12%	37	19%	38	19%	32	16%
	健康保険組合	143	14%	17	9%	30	15%	36	18%	33	17%	27	14%
	企業	454	45%	164	82%	105	53%	57	29%	60	30%	68	34%
	人間ドック	87	9%	17	9%	23	12%	18	9%	14	7%	15	8%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	91	9%	9	5%	13	7%	26	13%	22	11%	21	11%
前立腺がん	市区町村	85	9%	6	3%	17	9%	19	10%	24	12%	19	10%
	健康保険組合	131	13%	7	4%	19	10%	38	19%	36	18%	31	16%
	企業	173	17%	34	17%	38	19%	39	20%	35	18%	27	14%
	人間ドック	433	43%	127	64%	90	45%	60	30%	69	35%	87	44%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	8	1%	0	0%	1	1%	0	0%	3	2%	4	2%

協会けんぽ

協会けんぽ		全体	20代	30代	40代	50代	60代						
N		1788	205	400	400	400	383						
胃がん	市区町村	52	3%	2	1%	6	2%	13	3%	15	4%	16	4%
	健康保険組合	251	14%	2	1%	42	11%	55	14%	78	20%	74	19%
	企業	145	8%	1	0%	33	8%	30	8%	44	11%	37	10%
	人間ドック	228	13%	5	2%	45	11%	71	18%	47	12%	60	16%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	218	12%	7	3%	40	10%	53	13%	58	15%	60	16%
肺がん	市区町村	894	50%	188	92%	234	59%	178	45%	158	40%	136	36%
	健康保険組合	33	2%	1	0%	3	1%	9	2%	9	2%	11	3%
	企業	258	14%	6	3%	33	8%	47	12%	76	19%	96	25%
	人間ドック	158	9%	2	1%	20	5%	33	8%	50	13%	53	14%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	189	11%	5	2%	29	7%	57	14%	44	11%	54	14%
大腸がん	市区町村	193	11%	7	3%	39	10%	50	13%	49	12%	48	13%
	健康保険組合	957	54%	184	90%	276	69%	204	51%	172	43%	121	32%
	企業	48	3%	1	0%	1	0%	12	3%	19	5%	15	4%
	人間ドック	232	13%	5	2%	26	7%	44	11%	71	18%	86	22%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	135	8%	1	0%	18	5%	29	7%	46	12%	41	11%
乳がん	市区町村	164	9%	3	1%	24	6%	50	13%	40	10%	47	12%
	健康保険組合	199	11%	7	3%	40	10%	50	13%	49	12%	53	14%
	企業	1010	56%	188	92%	291	73%	215	54%	175	44%	141	37%
	人間ドック	66	7%	2	1%	5	3%	24	12%	22	11%	13	7%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	129	14%	6	4%	14	7%	31	16%	33	17%	45	25%
子宮頸がん	市区町村	44	5%	1	1%	9	5%	10	5%	18	9%	6	3%
	健康保険組合	64	7%	4	3%	8	4%	23	12%	16	8%	13	7%
	企業	163	18%	10	7%	33	17%	41	21%	42	21%	37	20%
	人間ドック	463	50%	123	84%	131	66%	71	36%	69	35%	69	38%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	87	9%	11	8%	16	8%	25	13%	23	12%	12	7%
前立腺がん	市区町村	113	12%	8	5%	18	9%	26	13%	28	14%	33	18%
	健康保険組合	44	5%	1	1%	13	7%	9	5%	15	8%	6	3%
	企業	60	6%	8	5%	6	3%	19	10%	15	8%	12	7%
	人間ドック	177	19%	14	10%	47	24%	45	23%	44	22%	27	15%
	年度内に受ける予定 受けるつもりはない	448	48%	104	71%	100	50%	76	38%	75	38%	93	51%

表4 がん検診を受けない理由

N	複数選択		最大ひとつ	
	2809		2809	
費用が掛かる	1074	38%	519	18%
がん検診の受診に関する通知が今年度は来なかった	747	27%	474	17%
面倒くさい	879	31%	432	15%
定期的に病院を受診しており、さらにはがん検診を受ける必要はないと思う	434	15%	374	13%
時間が取れない	683	24%	248	9%
どこで受けたらよいかわからない	569	20%	216	8%
自分の現在の年齢では、がん検診はまだ必要ないと思う	345	12%	191	7%
検診を受けることに抵抗がある	346	12%	120	4%
検査を受けても、がんを見つけれられるとは限らない(見落としがある)	176	6%	70	2%
自分の健康に自信があり、がん検診の必要性を感じない	151	5%	55	2%
検診の内容に不安を感じる	227	8%	50	2%
どんな結果が出るか不安で、知りたくない	190	7%	41	1%
場所が遠い	151	5%	15	1%
有所見だったことを他の人に知られたくない	42	1%	4	0%

表5 がん検診に欲しいサポート

	1位	2位	3位	4位	5位					
検査費用を補助してもらえ	1474	39%	967	26%	603	16%	196	5%	112	3%
土日祝日に受けられる	695	19%	323	9%	322	9%	312	8%	395	11%
勤務時間内に受けられる	609	16%	913	24%	489	13%	380	10%	297	8%
定期健康診断と同時に受けられる	544	14%	623	17%	669	18%	677	18%	500	13%
自宅や職場の近くで受けられる	150	4%	502	13%	930	25%	897	24%	410	11%
どんなサポートがあっても、受けるつもりはない	137	4%	137	4%	137	4%	137	4%	137	4%
郵送やオンラインで検診を受けられる	57	2%	93	2%	122	3%	225	6%	403	11%
検査項目を自分で選択できる	34	1%	94	3%	233	6%	360	10%	527	14%
検診受診時に心配事を専門家に相談できる	30	1%	50	1%	130	3%	315	8%	560	15%
検診の予約を代行してもらえ	23	1%	51	1%	118	3%	254	7%	412	11%

表6 がんやがん検診に対する意識

	全体	20代	30代	40代	50代	60代						
N	3753	570	800	800	800	783						
がんに罹ったら、長期入院が必要である	× 563	15%	82	14%	111	14%	108	14%	151	19%		
がんに罹っても、最近是有効な治療法がある	○ 1943	52%	375	66%	446	56%	429	54%	373	47%	320	41%
一度、がんにかかると、一生、治ることはない	× 338	9%	92	16%	88	11%	72	9%	57	7%	29	4%
がんにかかると、仕事を辞めずに続けられる	○ 2206	59%	296	52%	443	55%	436	55%	486	61%	545	70%
がんの治療には、副作用や後遺症をともなう	× 1602	43%	233	41%	303	38%	323	40%	328	41%	415	53%
がんは早期に見つければ、完治できる	○ 642	17%	137	24%	165	21%	139	17%	126	16%	75	10%
がんにかかると、仕事を辞めずに続けられる	× 548	15%	169	30%	131	16%	119	15%	67	8%	62	8%
がんの治療には、副作用や後遺症をともなう	○ 1634	44%	189	33%	330	41%	331	41%	367	46%	417	53%
がんは早期に見つければ、完治できる	× 176	5%	53	9%	35	4%	43	5%	21	3%	24	3%
がんは早期に見つければ、完治できる	○ 2644	70%	381	67%	578	72%	541	68%	565	71%	579	74%
自分自身も、将来、がんにかかると可能性が高い	× 285	8%	65	11%	72	9%	65	8%	52	7%	31	4%
がん検診は一般的に受けるべきものだ	○ 2218	59%	313	55%	447	56%	463	58%	471	59%	524	67%
がん検診を受け始める年齢は、若いほど良い	× 214	6%	42	7%	56	7%	40	5%	37	5%	39	5%
がん検診は一般的に受けるべきものだ	○ 1923	51%	318	56%	407	51%	403	50%	412	52%	383	49%
がん検診を受け始める年齢は、若いほど良い	× 227	6%	59	10%	52	7%	41	5%	45	6%	30	4%
がん検診を受け始める年齢は、若いほど良い	○ 2645	70%	372	65%	552	69%	579	72%	565	71%	577	74%
がん検診を受け始める年齢は、若いほど良い	× 302	8%	61	11%	70	9%	56	7%	58	7%	57	7%
がん検診を受ける間隔は、短いほど良い	○ 2211	59%	348	61%	478	60%	481	60%	461	58%	443	57%
がん検診を受ける間隔は、短いほど良い	× 488	13%	102	18%	98	12%	94	12%	98	12%	96	12%
がん検診の検査項目の数は、多いほど良い	○ 1668	44%	253	44%	348	44%	372	47%	341	43%	354	45%
がん検診で「要精密検査」と判定されたら、必ずがんが見つかる	× 345	9%	76	13%	74	9%	66	8%	68	9%	61	8%
がん検診で「要精密検査」と判定されたら、必ずがんが見つかる	○ 1855	49%	283	50%	401	50%	423	53%	383	48%	365	47%
がん検診で「異常なし」と判定されたら、がんの可能性は全くない	× 1126	30%	178	31%	236	30%	229	29%	257	32%	226	29%
がん検診で「異常なし」と判定されたら、がんの可能性は全くない	○ 780	21%	148	26%	169	21%	170	21%	153	19%	140	18%
がんを見つけれられる精度は、検査費用が高い検査のほうが優れている	× 1564	42%	238	42%	335	42%	336	42%	335	42%	320	41%
がんを見つけれられる精度は、検査費用が高い検査のほうが優れている	○ 669	18%	135	24%	155	19%	141	18%	126	16%	112	14%
現在のがん検診の項目だけでは不十分である	× 530	14%	110	19%	110	14%	104	13%	101	13%	105	13%
現在のがん検診の項目だけでは不十分である	○ 1314	35%	221	39%	306	38%	287	36%	252	32%	248	32%
がん検診を受けるかどうかは自分しだい	× 413	11%	119	21%	102	13%	70	9%	67	8%	55	7%
がん検診を受けるかどうかは自分しだい	○ 1233	33%	146	26%	250	31%	260	33%	293	37%	284	36%
がん検診を受けるかどうかは自分しだい	× 191	5%	41	7%	46	6%	42	5%	31	4%	31	4%
がん検診を受けるかどうかは自分しだい	○ 2622	70%	373	65%	524	66%	553	69%	577	72%	595	76%